

活動中のプロジェクト

各プロジェクトチーム 随時メンバー募集中!

興味を持った方、
気になった方は気軽に
お問い合わせください

ROCK THE FARM 一新琴似ふれあい農園

新琴似にある農園で区画を借りながら、農園の運営管理のお手伝いと、人と人のコミュニケーションを生み出す活動をしているチームです。



サイクルシェアリング ポロクル

自転車利用のマナーやルールの向上についての情報発信、自転車とエコ、地域経済振興などを考え、社会に提案していくためのチームです。



オーガニックファーム

石狩市にある、「はるきちオーガニックファーム」と連携し、畑をフィールドとした活動を通して、人と人、人と自然の循環やつながりを伝える活動を行っているチームです。



Radio

環境情報や活動情報などを発信していくためにコミュニティFMやインターネット放送を行っているチームです。現在、FMアップル(76.5Mhz)で毎週火曜日19:30~20:00放送中。



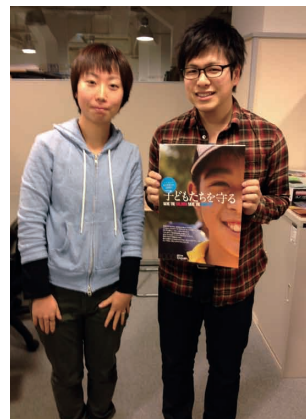
釜石支援

現地で活動中の、岩手県釜石市出身の仲間を応援しているチームです。長期・短期ボランティアのコーディネートなどを行っています。



Information

new 函館にezorockの拠点が出来ました



函館にezorockの拠点ができました。道南での活動サポートや、ボランティアスタッフの会議や打合せなどに活用して行く予定です。お近くにお住まいの方や函館にお立ち寄りの際は、是非お越し下さいね。

函館事務所
〒040-0053
北海道函館市末広町4番19号
函館市地域交流まちづくりセンター 3階
NO.7ブース

Let'sクリック Facebook、Twitter やってます

150「いいね」突破しました!
<http://www.facebook.com/ezorock/>
2011年12月現在、1,671フォロワーがいます!
<http://twitter.com/ezorock/>

オーガニックファームでお世話になっている農家さんの情報

はるきちオーガニックファーム 畑をお借りしています
直売所/北海道石狩市花畔363-13
TEL 0133-64-2095 <http://www.harukichi-farm.com/>

有限会社 池端牧場 RSRで出た「生ごみ」に池端牧場の牛糞と糞を混ぜた状態のものももらっています
<http://e-bokujo.com/>

代表の小言

最高のプレゼンテーションとは、どのようにして生まれるのか?

先日、地下歩行空間で行われたポロクルの発表会で、とても感動的な出来事がありました。数名のスタッフがステージに上がり、取り組みの内容や自身の思いを、一時間ほどで伝え、何事も無く無事に終了。見ていた私も「ホッ」としたときに、ご心配の女性の方がスタッフに近づき、「感動しました。ありがとうございます」と手を握りながら感謝を伝えていたのです。たった一時間でも、こまごまの気持ちに届くという事実が驚き、私も感動した場面でした。

どうして、こんなに最高のプレゼンテーションにつながったのでしょうか? 私の考えは、「聞いてくれる人に本気で伝えたい」と思っているかどうか」というシンプルな答えです。ただ、この「本気で伝えたいかどうか」を聞いている人に証明する必要はありません。そのために必要なことは、「私はすでに実践しています」ということです。これが何よりも一番難しい。しかし、これほど説得力のあることはありません。どんなに素晴らしい商品のプレゼンでも最後に「私は使っていないので、最後は私に使うという一言が入るだけで、全く価値がなくなりますからね。さて、みなさんのプレゼンは「本気」で実践していること」を伝えていきますか?

(草野竹史)

環境NGO ezorock 会員向け情報誌 vol.11 2011.12 Rock The Life! ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7
TEL/FAX 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org
WEB <http://www.ezorock.org/>



環境NGO
ezorock
www.ezorock.org

Rock The Life! ezorock

2011.12
vol.11



北海道の音楽フェスから生まれた オーガニックファーム

畠山 建 本田 信也 / ezorockers
生きるということ = 体を動かすということ / えぞ六

今月の写真

今年の RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZO 2011 でお目見えした、じゃがいもの「種」です。そう、じゃがいもの種はじゃがいもなのです。この種いもを4月に植えて、8月に収穫の時期を迎えます。



北海道の音楽フェスから生まれた オーガニックファーム



「設立のきっかけ」

オーガニックファームチーム、通称「いも部」。2007年より立ち上がったチームであり、活動フィールドが「畑」のチームです。設立のきっかけとなるキーワードは「生ごみ」「はるきちオーガニックファーム」の2つ。

1つ目の「生ごみ」、これは毎年環境対策活動を行っているRISING SUN ROCK FESTIVAL (以下RSR)での13分別のうちの1つです。

食べ物は残さず食べるというのが基本ですが、やむを得ず捨ててしまう時もあります。RSRでは毎年、約6万人の来場者がいるので、その量は約10トン以上にのぼります。これを通常のごみとして処分すると量や処理費共に膨大となるため、これまでは石狩の農家さんが「生ごみ」を「堆肥」という資源にすることで畑に使用していました。

2つ目のキーワードである「はるきちオーガニックファーム」。

これは当時のボランティアメンバーと、とある飲み会に参加した際にはるきちオーガニックファームのはるきちさんと出会った事がきっかけです。すっかり酔っぱらいながらも近況やお互いの活動内容を話しているうち

にどんと話が盛り上がっていき、はるきちさんが青年の立場から食や農業についてメッセージを発信していきたい、という想いを強く持っていることを知りました。

この時にRSRでの「生ごみ」の事を思い出し、堆肥を使って何かできないかという話もちあがりしました。

こうして2つのキーワードがひとつになり「自分たちで回収した生ごみを堆肥化し作物を作って翌年のRSRで来場者に無料配布しよう」と、いも部の誕生へ繋がりました。

「野菜との付き合い」

当たり前ですが、野菜は自然の物であり人間の都合でできるわけではありません。そのため、種をまいてから収

毎年春先は早めに地温を上げるため、畑上の雪を除去しています。



穫するまでの期間を逆算し、植える作物の種類やスケジュールを組み立てる会議を開いてRSRのタイミングで収穫できる野菜を選びます。

「じゃがいもは根が横に広がるから種いもの間隔は30cmくらいがいい。す

ると一列に何個植えることができるかな？」といったことや、「じゃがいもを育てた後は土が耕された状態になるので大根の成長に良い」というように勉強したり、アドバイスをもらいながら計画を立てています。

「活動するにあたって」

RSR以外でも、野菜の販売や食に関するセミナーでの講師もっており、なんと今年は道外のイベントでじゃがいもの販売も行いました！このよう



10月に静岡県で行われた朝霧JAMSにて、A SEED JAPANが出展したSEED CAFEでじゃがいもが販売されました。

に「食の循環」をメインテーマに活動していますが、保存食や調理を通して「若者の食生活を変えていきたい」という想いも強くもっています。

会議から実際に畑で活動するまでの全てのプロセスに参加する事ができるというのも特徴のひとつです。

自分が育てた有機野菜は愛着もあり、味も確かなものです。一度参加してみませんか？

文章 浅野目洋平

RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZO での 野菜配布



RSRで分別した生ごみを回収し、牛糞、もみ殻と混ぜて堆肥の基となるものを作ります。何回もスコップやフォークでかき混ぜ、発酵させることで春には立派な堆肥が出来上がります。

そして、出来た堆肥を畑に混ぜ、じゃがいもを育てていきます。毎週のように札幌から畑へと通い、雑草抜きや間引きなどを行い8月には収穫時期がやってきます。RSR直前に収穫し、会場へ直行する事もしばしば、時には、にんにくやすいかの栽培にもチャレンジし、じゃがいも同様来場者へ無料配布を行います。

開催期間中は約250個のじゃがいもをその場で調理し、じゃがいもに感謝をしながらみんなでいただきます。そして開催終了後にはまた生ごみを回収し...という目に見える形での循環、リサイクルを行っています。

ezorockers no.5



CDショップ店員
畠山 健 さん (24)
あだ名: TK
ezorock 歴: 1年3ヶ月

自分の新しい一面に気付かされる

●ezorockに参加したきっかけと理由
きっかけはRSR10です。ボランティア活動しながらアーティストを見れるというのにとても魅力を感じ、参加しました。実際に活動していると、とても恐面な人もごみ分別に協力してくれたり、来場者の方と一緒に音楽に合わせてノリノリになって活動できたりと、驚きばかりだったのが印象に残っています。そして本格的に活動にのめり込み始めたのは、その年のいも部の畑ツアー。久々の農作業や、RSRで出た生ごみが堆肥となっている姿を見た時にとても衝撃を受けました。

●自分にとってのezorockとは？
良い刺激を受ける場所。一緒に活動するメンバーはとてもモチベーションが高く、様々な発見を与えてくれます。「あ、こんな考え方があったんだ。自分で

は考えもしなかったな。」というのがとても多く、いつも良い刺激を受けます。その度に自分の新しい一面に気付かされたり、もっと改善していかなければならない部分が出てきたりと、人間として成長できる環境だなあ、と実感します。

●将来の夢

将来の夢は地元に戻って農業をやりたいと思っています。実家が米農家で、減反政策で余った土地が結構あります。その土地で、いも部で得た知識等が活かせるような農業ができればいいなと思っています。



小樽商科大学
本田 信也 さん (22)
あだ名: shin
ezorock 歴: 4ヶ月

夢を語れるような人間になること

●ezorockに参加したきっかけと理由
きっかけは、ボラナビでRSRのボランティア募集の記事をみたから。参加理由は、いも部の活動に興味があって、楽しいし勉強になったから。それ以外の活動も自分の興味のある内容だった。

●自分にとってのezorockとは？
今まで自分が培ってきた考え方や知識をアウトプットできる機会。エゾロックでは、他のメンバーと活動する中で、自分のスタンスがどういふものなのかを改めて考えさせてくれる。同年代のまじめな人たちとも沢山出会えて、刺激を受けられる。普段怠けている自分にとっては、レッドブルのようなところ。

●将来の夢

ひとつは、日本の田舎でゲストハウスをやること！

自然に囲まれたところで、小規模な畑をやりながらゲストハウスを経営したい。というのも、自分は前に鳩間島のゲストハウスでヘルパーをしたことがあるのだけれど、その時に宿の大変を感じると同時にそれ以上のおもしろさを知ってしまったから。宿泊客だけでなく、地域の人やたまたま通った人も、気軽に入れるようなものにしたい。他の夢としては、クライミングを極めたいとか、ニューオリンズでストリートライブしてみたいとか、蚊にさされない体質になりたいとか色々。それに、こういう場で立派な夢を語れるような人間になること自体が私にとっては夢かもしれないです。

えぞぞろろ

気になり処

第五号

生きるということ II 体を動かすということ

18〜19世紀にかけて起こった産業革命により僕らの生活はどんどん便利になっていきました。スイッチを押せば火が出て、電気がつき、暖房が入り、米が炊け、エンジンがかかるようになりました。そんな「便利」の中で僕らが失ったものは何なのでしょう。火をつけるために石を打つこと、暖をとるために薪を切るものがなくなり、薪を切ることがなくなり、体を動かすことがなくなりました。体を動かさないと、自分では何かを生み出す

場所を失い、体験・体感することが出来なくなってしまうということ。そんな田舎に行かないと出来ない、しょ〜なんて思っています。ezorockのコミュニティスペースならリアルを体験できます。寒い時は薪を割り、火を起し、暖をとる、お湯を沸かす。汚してしまったら雑巾を洗い、雑巾を洗う。お腹が空けば食材を選び、作って食べる。悩んでいることがあれば人に相談してみる、考えてみる。

自分で行っていないと言っていることは見知らぬ誰かが代わりにその人の方法で作っているということ。それでは作り方や材料にこだわりがありません。体を動かすということとは、経験することであり、考えることであり、望んでいることを形にすることであり、生きていくこと。今まで感じたことのないリアルな情報は体感することでしかあなたの中に入っては来ないのですから。「生きるということ II 体を動かすということ」。